

各PTA会員の皆様へ

いじめの根絶と「いのち」の尊さを考えるメッセージ(お願い)

さて、昨年10月、大津市の中学2年生の男子生徒が自殺するという痛ましい事件が発生しました。報道によれば、その原因はいじめにあるとされており。その後も、いじめを背景とする傷害事件や児童・生徒が自ら命を絶つという事件が発生しており、これらが全て真実だとすれば非常に残念であり、このような事件は今後絶対にあってはなりません。

私たち保護者は、子どもたちに「いじめ」は人間として「絶対に許されない行為であること」「子どもたちの心身に深刻な影響を及ぼし、生命も奪いかねない人権に関わる重大な問題であること」をきちんと教えることや、教育の原点である家庭教育のあり方を改めて問い直していかなければなりません。

広島県PTA連合会として、(社)日本PTA全国協議会とともに子ども達を守る視点に立ち、今後の対応について関係機関へ働きかけながら、いじめの根絶と「いのち」の尊さを考えることを次のとおり再確認します。

●私たちは「子育ての第一責任者である」ことを認識しよう。

いじめの問題の未然防止のためには、家庭教育も重要な役割を担っております。家庭の中での親子の会話やふれあい、信頼に基づく厳しさをとおして、親子の人間関係づくりに努めましょう。

●子どもたちに「いじめは絶対にしてはいけないこと」だと教えよう。

いじめは許されない、いじめる側が悪いという認識に立ち、わが子がいじめの加害者になったときには、毅然とした態度で教えましょう。また、いじめを傍観したりする行為もいじめる行為と同様に許されないことを教えましょう。

●子どもたちに『いのち』の大切さを教えよう。

親から授かった命はたった一つです。この大切な命を落とすことになればみんなが悲しみます。『いのち』の大切さ・尊さすなわち、一度失った命は二度と帰ってこないことを教えましょう。

●子どもたちが発する「サイン」に注意し、見逃さないようにしよう。

わが子がいじめから守るという認識に立ち、常日頃から、子どもとのコミュニケーションづくりに努める中、悩みを親身になって受け止め、子どもが発する「いじめのサイン」を見逃さないようにしましょう。

●いじめの早期発見・早期対応に努めよう。

いじめは「どの子どもにも、どの学校にも起こりえる」という認識のもとに早期発見に努めましょう。いじめが生じた際には、学校や関係機関等に相談するなど、「速やかに対応」しましょう。

●可能な限り「学校行事」や「地域行事」に参加しよう。

親子で学校や地域の行事に参加し、子どもの生活の様子や交友関係を知り、子どもとの会話を増やしましょう。また、家庭、学校、地域社会のすべての関係者が一体となった取り組みをしましょう。

平成24年9月19日

各小・中学校学校長 様
各単位PTA会長 様

広島県PTA連合会
会 長 岡崎 博
《公 印 省 略》

いじめの問題への適切な取組について（お願い）

日頃から、広島県PTA連合会の活動に対しまして、ご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、昨年10月、大津市の中学2年生の男子生徒が自殺するという痛ましい事件が発生しました。報道によれば、その原因はいじめにあるとされております。その後も、いじめを背景とする傷害事件や児童・生徒が自ら命を絶つという事件が発生しており、これらが全て真実だとすれば非常に残念であり、このような事件は今後絶対にあってはなりません。

（社）日本PTA全国協議会（日P協）は去る7月25日、子どもを守るとの視点を中心に、学校・教育委員会のより一層の適切な取組や保護者、地域との連携の強化など、いじめを根絶出来る効果のある措置を講じるよう、「いじめ問題への適切な取組について」の要請文を文部科学大臣に対して提出するとともに、全国61PTA協議会に対し「いじめの根絶と『いのち』の尊さを訴える」メッセージを配布されました。

これを受け広島県PTA連合会においては、日P協の作成された要請文、お願い文とともに、県P連としてのいじめ根絶のためのメッセージを作成し、各郡市PTAや単位PTAの皆様方へ発信することによって、各家庭や学校・地域が一緒になった取り組みを進め、このような事件が今後絶対に繰り返されないようお願いするものでございます。

つきましては、別添のメッセージを各会員の皆様にお届け頂きますようお願いいたします。

平成24年9月19日

各郡市PTA連合会会長 様
同 事務局長 様

広島県PTA連合会
会 長 岡崎 博
《公 印 省 略》

いじめの問題への適切な取組について（お願い）

日頃から、広島県PTA連合会の活動に対しまして、ご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、昨年10月、大津市の中学2年生の男子生徒が自殺するという痛ましい事件が発生しました。報道によれば、その原因はいじめにあるとされております。その後も、いじめを背景とする傷害事件や児童・生徒が自ら命を絶つという事件が発生しており、これらが全て真実だとすれば非常に残念であり、このような事件は今後絶対にあってはなりません。

（社）日本PTA全国協議会（日P協）は去る7月25日、子どもを守るとの視点を中心に、学校・教育委員会のより一層の適切な取組や保護者、地域との連携の強化など、いじめを根絶出来る効果のある措置を講じるよう、「いじめ問題への適切な取組について」の要請文を文部科学大臣に対して提出するとともに、全国61PTA協議会に対し「いじめの根絶と『いのち』の尊さを訴える」メッセージを配布されました。

これを受け広島県PTA連合会においては、日P協の作成された要請文、お願い文とともに、県P連としてのいじめ根絶のためのメッセージを作成し、各郡市PTAや単位PTAの皆様方へ発信することによって、各家庭や学校・地域が一緒になった取り組みを進め、このような事件が今後絶対に繰り返されないようお願いするものでございます。

つきましては、別添のお願い文及びメッセージをご活用頂きますとともに、貴管内の各学校長様並びに各単位PTA会長様宛にお届け頂きますよう併せてお願いいたします。